

海上の森自然観察会

テーマ 冬鳥をさがそう

日時 12月15日(土)10:00~13:00(雨後曇り)

参加者 指導員 3

朝から雨がかなり強く降っており、これでは参加者もいないかと思いながら海上の森に向かいました。集合場所の駐車場には薄っすらと雪の残ったところもあり、止まっていた車は1台だけでした。それでも時間までにほかに指導員2名が集まり、3名で篠田池コースを回ることとしました。

今年を振り返ってみると、4月に開始日を第3土曜に変えて以来、雨にたたられることが多く、何と6、7、8、11、12月と5回が雨で、9月も観察会の時は晴れていたものの、終了直後にひどい雷雨があり、すっかり雨男になってしまったようです。

10時に駐車場を出発する頃には、雨も小降りになり、駐車場周辺と道路に出る橋の付近ではシジュウカラにエナガ、メジロ、アオジなどの混群が出迎えてくれました。観察会前に姿を見せてくれたベニマシコは、この時は声だけしか聞かれませんでした。雨の日は、野鳥も割と人を気にせず近づいてくるような気がします。

篠田池までの森の中の道は時折、ヒヨドリやウグイスの地鳴きが聞かれる程度で、静かなものでした。篠田池に着いた時には、もう雨はほとんどあがっていましたが、羽の濡れたアオサギが枝に止まり、カケスの声や、アカゲラらしい声が聞かれました。

篠田池に流入する川の砂防堰堤では、水底から気泡(嫌気性発酵で生じるメタンを含んだガスと思われます。)が出ていましたが、その付近の水面に楕円状の奇妙な模様が見られました。よく見ると、泡のたくさん出ている所以外には氷が張っており、気泡が氷との間に閉じ込められてできたものでした。

海上の里のサテライトで昼食をとっているうちに、空も明るくなり、イカルの鳴き声が聞かれ、3羽が梢に姿を見せてくれました。海上の里から四ツ沢までの間で、ヤマガラやウソの群、ルリビタキなどを近くでしっかりと見ることができました。また、駐車場の近くでは、有刺鉄線にモズのハヤニエがあり、最後になって冬鳥の代表ともいえるツグミが姿を見せてくれました。冬鳥のカシラダカ、ジョウビタキなど期待していたものが出なかったことはありますが、まずまずの野鳥が見られたと思います。

天気が今一つで帰りのコースをショートカットしたため、いつもより早く13:00に解散しました。

(報告: 齋竹善行)

<観察できたもの>

野鳥: シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、アオジ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス(声)、アオサギ、カケス、アカゲラ(声)、シロハラ(声)、ルリビタキ、イカル、モズ、キジバト、コゲラ、ウソ、ツグミ、カワウ

実: ヒヨドリジョウゴ、ノイバラ、イヌザンショウ、トキリマメ

花: セイタカアワダチソウ

蕾: ハンノキ、サクラバハンノキ、アセビ



(ツグミ)



(モズのハヤニエ)